

献 呈 の 辞

経営学部長 平井 克彦

経営学部教授手塚政孝先生は、昨年7月にめでたく古希をむかえられ、2008年3月末日をもって明治大学を定年退職されることになりました。70歳とはとても思えないほどお元気です。それにも関わらず、本学の定年規則によって退職されることはまことに残念であります。

先生は1973年（昭和48年）4月に本学専任講師として赴任され、以来35年の長きにわたって、経営学部および経営学部の体育における教育・研究活動に携わってこられました。先生は学内行政の面では学生部委員、経営学部一般教育主任、学生相談員、人文科学研究所運営委員等の要職を歴任され、学部・大学の発展に尽くされてまいりました。

先生は1984年から2002年まで日本武道学会常任理事、1985年から2008年まで日本体力医学会評議員、1991年から1998年まで日本ストレス学会幹事等を歴任され、また、全日本柔道連盟医科学委員会の副委員長、講道館柔道科学研究会の委員長を歴任されるなど、わが国の柔道の発展に多大な御貢献をされました。

ご研究では、とりわけ柔道、運動生理学の分野において、独自の理論を展開され、日本の運動生理学分野における理論形成の一翼を担ってこられました。その学問への真摯な姿勢は、指導をした学生をおおいに啓発し、多くの優秀な社会人を育ててこられました。

先生は、「大魔王」と愛称で呼ばれるほど親しみがもたれています。スキー、テニス等しばしばご一緒させていただきました。最近では、さらに性格が大変おだやかなになられ、いつも顔に笑みを浮かべて優しく話しかけられています。

この度、先生の在職中の御功績をたたえるとともに、多年にわたる御指導に感謝と敬意を表し、本号を先生の退職記念号として刊行する運びになりました。今後とも私ども後進の御指導をお願いするとともに、先生の益々の御健勝をお祈り申し上げ、献呈のことばといたします。